

A green square with a thin black border containing the lowercase text "kfop" in a black serif font.

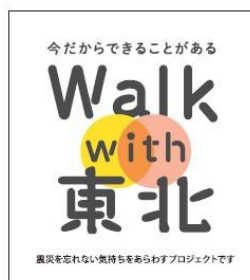
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

【 2015年度(H27)活動報告 】

《2014年度(H26)活動実績・2015年度(H27)活動計画》

2015年4月1日

(更新：2015年6月5日)



目次

| | |
|------------------------------|----|
| I. 当会について | 3 |
| 1. 設立趣旨書 | 4 |
| 2. 活動内容 | 5 |
| 3. 活動方針 | 5 |
| 4. 活動実績 | 6 |
| 5. 組織概要 | 7 |
| 6. 会員制度 | 7 |
| 7. ご寄付 | 7 |
| 8. 当会運営 | 8 |
| II. 2014年度活動実績（平成26年度） | 9 |
| 1. 福島の課題 | 9 |
| 2. 活動方針 | 10 |
| 3. 活動目的 | 10 |
| 4. 全体事業実績（概要） | 12 |
| 5. 事業実績詳細 | 13 |
| (1) 事業1＜直接活動①（福島バス）＞ | 13 |
| (2) 事業2＜直接活動②（仮設住宅）＞ | 14 |
| (3) 事業3＜直接活動③（南相馬バス）＞ | 16 |
| (4) 事業4＜県内支援①（交流会）＞ | 20 |
| (5) 事業5＜情報発信＞ | 21 |
| (6) 事業6＜その他活動、会の維持管理＞ | 22 |
| (7) 事業費実績総計 | 23 |
| (8) 寄付実績総計 | 24 |
| (9) 総事業会計 | 24 |
| 6. 平成26年度、役員・スタッフ | 25 |
| 7. 平成26年度、会員状況／参加者状況 | 25 |

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| 8. 平成26年度(2014年度)総括..... | 26 |
| III. 2015年度活動計画(平成27年度) | 28 |
| 1. 福島の課題..... | 28 |
| 2. 活動方針..... | 29 |
| 3. 活動目的..... | 29 |
| 4. 全体事業計画(概要) | 30 |
| 5. 事業詳細..... | 31 |
| (1) 事業1 ボラバス | 31 |
| (2) 事業2 仮設訪問 | 32 |
| (3) 事業3 視察研修 | 33 |
| (4) 事業4 県内支援 | 34 |
| (5) 事業5 講演会 | 35 |
| (6) 事業6 市民活動 | 36 |
| (7) 維持管理 | 37 |
| (8) 事業合計 | 38 |
| 4. 役員・スタッフ | 39 |
| 6. 最後に | 40 |
| III. 補足資料..... | 41 |
| 1. 活動の様子(詳細) | 41 |
| 2. 活動日程(計画、一部抜粋、状況により変更もあります。) | 42 |

I. 当会について

当会は、2011年5月より岩手県に3分の1、宮城県に3分の1、そして福島には個人で3分の1として福島応援の活動を進め、2011年10月より福島応援隊として有志の応援をいただき活動をさらに一歩前に進め、2012年1月11日に“kfop”を設立しました。

活動に当たっては、設立前の約半年間、福島にボランティアバスを出すべく、事前準備を進めましたが、福島へバスをなかなか出していただけでない現実、ボランティアバスを出すことへの理解がなかなか得られない現実、活動に理解がなかなか得られない現実がありました。そんな環境の中、バスは横浜の『シティアクセス株式会社』様に出していただきました。活動先はスタッフ含め現地に赴き、受入れ調整をさせていただきました。

設立当初の2012年度の主な活動としては

①現地活動

- ・福島市の福島市社会福祉協議会募集のボランティア（渡利地区、大波地区）。
- ・福島市の任意団体の復興応援活動（借上住宅・近隣にお住まいの皆様、応急仮設住宅に）。
- ・南相馬市の鹿島区社会福祉協議会募集による小高区での屋外活動（山側、海側、街中）。
- ・南会津での大熊町の子供たちを対象とするイベント支援活動。
- ・最終の福島12便は、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」、で活動。

②県内活動（神奈川県内での活動）

- ・神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様へのお手伝い、避難されている方々の気持ちは私達には充分には分からないかも知れませんが、少しでも近づければ、との気持ちで。
- ・かながわ東日本大震災県内避難者支援ネットワークに協力し、弁護士よろず相談会。
- ・同、町別（浪江町、双葉町、富岡町、檜葉町、大熊町）交流会。
- ・同、また共催し「ふるさとコミュニティinかながわ」の県内全体の交流会。
など、活動および協力ができました。

③当会の応援者は

2012年1月末時点で48名、2013年3月末に置いては167名（内会員は119名）と多くの方に応援をいただくことができました。2015年3月末の登録メンバーは254名。

2012年度から、2014年度までの活動履歴は当会HPに掲載しています。

平成27年度も継続し、福島の応援を続けていく。

ご参加いただきました皆様、応援をいただきました皆様、寄付をいただきました皆様、支援金をいただきました皆様、そして私達を受入れてくださいました現地の皆様、交流会にお越しいただきました避難されている皆様（県外からもお越しいただきました）、同じく交流会にご協力をいただきました行政の皆様、に感謝いたします。

かながわ「福島応援」プロジェクト
代表 渡辺孝彦

1. 設立趣旨書

(1) 趣 旨

2011年3月11日に地震と津波による被害を受けた東京電力第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉の冷却ができなくなり、大量の放射性物質放出を伴う重大な原子力事故に発展した。これにより浜通り地域を中心に、周辺地帯の住民は長期の避難と、福島県の住民へのいわれなき差別、いじめ、風評被害、観光の打撃と、今現在においても大きな苦難を強いられています。

かながわの「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」では岩手県・宮城県に向けて活発な支援が続けられていますが、福島県への支援は今なお実現していません。また、福島県は今もなお復旧に至らず、復興ままならない状況下にあります。

その中、福島県に住んでいる方々、福島県から避難される方それぞれの方へ応援をしていきたい。神奈川県から「福島を応援する」その主旨で、かながわ「福島応援」プロジェクトを設立するものです。

(2) 活 動

- ①直接活動（家屋内外の片付け、街中掃除、仮設訪問、子供たち支援等をしていきたい）
 - ②県内支援（神奈川県内、関東圏に避難されている方へのお手伝い）※¹
 - ③情報発信（福島県での活動、観光情報、温泉情報、特産物情報、など発信したい）
- を行い、今までと同じように笑顔があふれ、子供たちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島県であることを願い活動を展開し、また、神奈川県から応援の輪を広げるために、多くの方の参加者を募り活動していきたい。

※¹：②の県内支援活動は設立当初はなく、私達は現地福島に直接行きお手伝いする、神奈川県内に避難されている方のことは神奈川県に住む方で応援してほしい。その思いでありましたが、県内での応援もまだまだ十分ではなく、必要、と感じ活動を追加したものです。

(3) 経 緯

- ①2011.10.11 ボラステ※²のボランティア活動と平行して活動を開始（発起）
- ②2011.10.29 ボラステのボラバスチームメンバー参加により福島市ボランティア参加
- ③2011.12.28 スタッフ含めた参加者の募集、本格設立へ行動（36人が賛同）
- ④2012.01.09 初会合（賛同出席者16名）
- ⑤2012.01.11 設立日とする。

※²：ボラステとは「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」のこと。

2011.10.11
かながわ「福島応援」プロジェクト
設立代表 渡辺 孝彦

2. 活動内容

かながわから福島を応援します。

任意団体として、情報発信、直接活動とできることを少しずつでも進めます。

- ・直接活動（家屋の片付け、街中掃除、仮設訪問、子供たちへできることのお手伝い）
- ・県内活動（神奈川県に避難されている方へのお手伝い）
- ・情報発信（福島での活動、観光、温泉、食べ物、なんでも、情報を発信します）

そして、今までと同じ様に笑顔があふれ、子供たちも楽しく・伸び伸びと遊んでいる福島であることを願います。

さらに、かながわから支援の輪が広がり、多くの方に福島を訪れていただけることを願います。

3. 活動方針

(1) 当会は、粛々と活動を行っております。

何が無くても福島に行く、その心づもりが基本となります。

- ・福島の復旧・復興を願う。
- ・福島の観光・温泉・果物・農産物などの応援をする。
- ・福島の子供たち、避難を余儀なくされている皆様に少しでも応援になることをする（重きを置くこと）。

(2) 福島の活動においては、ご家族の理解も得て行う。

(3) また、スタッフ、参加者ともに無理はしない

- ・できることを
- ・できるときに
- ・できる範囲で

(4) 活動の全て

- ・kfop 日程表、プロフィール、活動内容、設立趣旨、本会規約、事業計画、活動履歴
- ・会員募集、ご寄付、会計（事業会計・会計報告）
- ・ボランティア募集情報
- ・活動様子

など、全ての情報を、当会のHPで公開しています。HPをご覧ください。

長く福島の応援を続けることができるためにも。

4. 活動実績

(1) 現地活動

| 年度 | 活動先 | 実施回数 | 参加者数 |
|----------------|--------------------|------|------|
| 2011年度 | 福島市大波地区ボランティア | 6回 | 29名 |
| 2012年度 | 福島市渡利地区ボランティアバス | 3回 | 57名 |
| | 福島市復興応援ボランティアバス | 6回 | 155名 |
| | 南相馬市小高区ボランティアバス | 2回 | 67名 |
| | 会津若松市(大熊町)ボランティア | 1回 | 6名 |
| | 福島市「花に願いを」ボランティアバス | 1回 | 22名 |
| 2013年度 | 福島市渡利「花見山公園」花見バス | 1回 | 23名 |
| | 福島市「花に願いを」ボランティアバス | 10回 | 130名 |
| | 静岡県西伊豆町水害ボランティアバス | 2回 | 21名 |
| | 南相馬市小高区ボランティアバス | 6回 | 99名 |
| 2014年度 | 福島市渡利「花見山公園」花見バス | 1回 | 17名 |
| | 福島市「花に願いを」ボランティアバス | 2回 | 4名 |
| | 南相馬市小高区ボランティアバス | 10回 | 159名 |
| | 福島県内応急仮設住宅等訪問 | 4回 | 5名 |
| 累計 | | 55回 | 794名 |
| 2015年度 (計画) | 視察研修便(富岡町、他) | 2回 | 40名 |
| | 南相馬市小高区ボランティアバス | 10回 | 180名 |
| | 福島県内応急仮設住宅等訪問 | 4回 | 12名 |
| | 他、現地社協、現地自治体等訪問の継続 | | |

(2) 県内活動

| 年度 | 活動先 | 実施回数 | 参加者数 |
|--------|-------------------------|------|------|
| 2012年度 | 第1回「ふるさとコミュニティ in かながわ」 | 1回 | 協力 |
| | 第2回「ふるさとコミュニティ in かながわ」 | 1回 | 共催 |
| | 町別交流懇談会・”しゃべりば”・弁護士相談会 | 22回 | 協力 |
| 2013年度 | 第3回「ふるさとコミュニティ in かながわ」 | 1回 | 共催 |
| | 第4回「ふるさとコミュニティ in かながわ」 | 1回 | 共催 |
| | 町別交流懇談会・お茶っこ会 | 12回 | 協力 |
| 2014年度 | 第5回「ふるさとコミュニティ in かながわ」 | 1回 | 共催 |
| | 第6回「ふるさとコミュニティ in かながわ」 | 1回 | 共催 |
| | 町別交流懇談会・お茶っこ会等 | 20回 | 協力 |

(3) 情報発信

ホームページ (<http://kfop.jimdo.com/>)、会員向けメーリングリストで福島情報を発信中

5. 組織概要

| | 会議体 | 目的 |
|-----|---------------|--|
| (1) | 総会 | 総会は年1回開催。 役員・正会員にて、活動報告、活動計画などの運営を決議する。 |
| (2) | 定例会 | 定例会は都度開催。開催日は定例会で決め議事録とする。 |
| (3) | 臨時総会 臨時定例会 | 臨時総会、臨時定例会は役員が必要と認めたとき、代表が招集する。 |

※全てにおいて、一般会員、賛助会員、その他登録会員の参加を妨げない。

6. 会員制度

| | 会員項目 | 役割 | 年会費 |
|-----|--------|---|-------------|
| (1) | 正会員 | 入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。正会員より総会にて役員を選出する。 | 1,000円/1口以上 |
| (2) | 一般会員 | 正会員以外で本会の活動を支援する会員とする。 | なし |
| (3) | 賛助会員 | 財政支援の個人・団体の会員とする。入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。 | 1,000円/1口以上 |
| (4) | 登録メンバー | 情報発信の為に、過去活動参加された方など、当会のMLに登録されている方。 | なし |

※当会のMLに登録のうえ情報を発信させていただきます。

7. ご寄付

寄付専用口座を持ち、HP掲載にて広く一般からの寄付（寄付・支援金・助成金）を受け入れる。ご寄付・支援金・助成金は、全てHPに掲載し、その使途も全て会計のHPに掲載する。

《ご寄付・支援金等実績》

| 年度 | 項目 | 金額 | ご寄付・支援元 |
|--------|---------|----------|-----------------------|
| 2012年度 | 寄付 | 403,822円 | 一般の方からの寄付（お名前はHP掲載） |
| | 助成金（寄付） | 300,000円 | 一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様 |
| 2013年度 | 寄付 | 472,571円 | 一般の方からの寄付（お名前はHP掲載） |
| | 支援金（寄付） | 300,000円 | リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様 |
| | 助成金（寄付） | 500,000円 | 一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様 |
| | 支援金（寄付） | 100,000円 | 富士ゼロックス神奈川(株)端数倶楽部 様 |
| 2014年度 | 寄付 | 253,545円 | 一般の方からの寄付（お名前はHP掲載） |
| | 助成金（寄付） | 200,000円 | 一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様 |
| | 支援金（寄付） | 200,000円 | azbil みつばち倶楽部 様 |

8. 大会運営

(1) 定例会・管理事項等

| | | |
|-------|---------------|-----------|
| 定期開催 | 神奈川県民サポートセンター | 11F 会議室など |
| 議事録 | 議事録作成・管理 | 電子ファイルで保管 |
| 会計監査 | 年度末に内部会計監査実施 | |
| 寄付・寄贈 | HPですべて掲載 | ご寄付のページ |
| 会計 | HPですべて掲載 | 会計報告のページ |

(2) 安全対策など

| | | |
|----------|---------------|-----------|
| ボランティア保険 | 活動参加者の加入を確認 | 参加申し込み時 |
| 行事保険 | 行事实施時に加入 | 必要都度加入 |
| 活動マニュアル | 活動場所毎に作成 | 電子ファイルで保管 |
| 行程表 | 活動・バス行程表を都度作成 | 電子ファイルで保管 |
| 仮眠所 | バス運転手仮眠所確保 | 各、現地で確保 |

(3) 教育関係（自主受講済み事項）

| | | |
|---------------------------|--|-------------|
| 環境省 水・大気環境局除染等業務に係る特別教育 | 渡辺孝彦、戸沢正弘、村上幸 | ボランティア活動スキル |
| 除染等業務作業指揮者教育 | 戸沢正弘、村上幸 | ボランティア活動スキル |
| 労働安全衛生法による安全衛生教育（刈払機） | 渡辺孝彦、戸沢正弘、東尚子 村上幸 | ボランティア活動スキル |
| 労働安全衛生法による特別教育（伐木：チェーンソー） | 渡辺孝彦、戸沢正弘、東尚子 村上幸 | ボランティア活動スキル |
| 赤十字救急法 救急員 | 戸沢正弘、東尚子、村上幸 | ボランティア活動スキル |
| 横浜市消防局 普通救命講習 | 山下圭子 | ボランティア活動スキル |
| 労働安全衛生法による特別教育修了（小型車両系） | 村上 幸(2014. 5. 25 追加) 戸沢正弘(2014. 8. 14 追加) | ボランティア活動スキル |
| 防災士 (NPO日本防災士機構) | 戸沢正弘(2015. 3. 19 追加) 東 尚子(2015. 3. 19 追加) | ボランティア活動スキル |

※掲載は一部（抜粋）

(4) 保有備品（個人保有を除く）

| | | |
|------------|------------------|------|
| TERRA-P | 4台（購入）（活動時の計測管理） | 参加者用 |
| TERRA-N | 6台（購入）（活動時の計測管理） | 参加者用 |
| メディキタスCK-6 | 9台（寄贈）（活動時の積算管理） | 参加者用 |

※活動参加時の計測、積算を記録します。

II. 2014 年度活動実績(平成 26 年度)

1. 福島の問題

2014 年は東日本大震災から 3 年、今なお、福島の復旧・復興はまだまだこれからである。「復興、復興」の掛け声は盛んだが、変わらぬ現実がある。支援に 3 年目を区切りとする動きも多くあるが、再編後の避難区域の解除の動きもあり、今後とも多くの課題を抱え、長期に見据えての支援も必要であろう。また、現地のニーズにも変化がある、当会は以下の課題に取り組む。

(1) 福島で生活されている方々の環境課題

福島で果敢に生活をされている方がいる、その中で放射能への不安を抱えた環境がある、子供たちが通う通学路などにも多くの“ホットスポット”が点在する。その環境を少しではあるが、改善へのお手伝いが必要と考える【継続課題】。ただし、本活動は現地ニーズ・受入れ先があり、活動を進めてきている。今後の現地ニーズにより、活動の判断をしていく。

(2) 現地、応急仮設住宅・見なし仮設住宅などの課題

福島県の方々の環境は依然として変わらない、長期な応急仮設住宅・見なし仮設住宅などでの生活、先の見えない不安、それぞれの方々の環境は様々【継続課題】。さらに、孤独死・自殺が多くなってきているとも伺った【長期的な生活による課題】。また、今後復興住宅も計画されているが、新たなコミュニティ作りの難しさもあると伺った【新たに発生するであろう課題】。仮設住宅などには既に多くの支援団体が入っていることから、当会では今まで、活動を行ってきていない。また、現時点で何を目的にするのかの課題もあり、現時点で早急な取り組みはできないが、福島に長く関わることは必要である【継続課題】。情報収集・情報発信など、福島と関わりを続けていく。

(3) 避難区域の見直しへの課題

福島第一原子力発電所から 20 キロメートル圏内にある南相馬市小高区では、原発事故直後から住民の立ち入りが制限されていたが、2013 年 4 月に警戒区域の再編により立ち入り制限が緩和され、避難指示解除準備区域となった。また 2 年後の平成 28 年には避難指示が解除される計画である。平成 25 年度に、現地ニーズによる家屋内の片づけ・復興へ家屋周りの片づけをさせていただいたが、今後とも同様のニーズが継続【継続課題】してあるものと思われる。

(4) 神奈川県内（関東近県）への避難を余儀なくされている方々の環境課題

継続。神奈川県に福島から多くの方々が避難を余儀なくされている、孤独に陥ることなく、また、避難されている方々の主体的なコミュニティ作り（人と人、人と町）が未実現である。継続される大きな課題【継続課題】にとらえる。

なお、本件は「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共に共催・協力し進める。
当会は、活動への参加・協力、活動資金の一部の拠出（拠出金）をもって活動を進める。

2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・活動する上で必要とする知識（安全知識）
- ・活動する上での現地受け入れ団体の長との情報交換（安全の担保）

を行い、活動を進める。

また、現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

活動の為のニーズ作りは行わない。ただし、現地との関わりは長く続けたい。

3. 活動目的

(1) 福島で生活されている方々の環境課題へ (直接活動①)

現地活動団体の受入に参加し

- ①神奈川から（含む関東圏内の参加者）その環境の改善へ少しでもお手伝いをする。
- ②参加者が参加することにより福島の今を知って頂く。
- ③現地福島の復興の応援として、帰路、福島の名産の買い物。
- ④夕食は福島駅東口の「かーちゃんふるさと農園わいわい（一般社団法人ふくしまかーちゃんのカネットワーク）」の弁当を購入して応援など。
- ⑤4月は登録会員限定で福島市の花見山公園への花見を行い、観光応援をする。
- ⑥平成26年度は現地環境の変化もあり、ニーズを確認しながら進める（重要）。

(2) 現地、応急仮設住宅・見なし仮設住宅などの課題へ (直接活動②)

現地福島へ関わらなければ見えてこない現実、ニーズがある。

当会は先の通り、仮設住宅への支援は行ってきていない、今後とも当会として何が出来るか、現地ニーズとして必要とされることを、現地に関わりながら、(1)の活動と並行して、仮設住宅などでの支援の在り方を探る。

- ①関わり続ける事
- ②関わり方 を探る。
- ③その為に、福島訪問を毎月1回計画する。予算化する。【新しい取り組み】
※地元の活動団体、仮設住宅の自治会などに関わりを持ち進める。

(3) 避難区域の見直しへの課題へ (直接活動③)

小高地区については既に日中の立ち入りが可能になっている (避難指示解除準備区域)。

- ①家屋内外の片づけニーズに対応して活動する。
- ②参加者が参加することにより福島の今を知って頂く。
- ③帰路、南相馬道の駅、安達太良SAなどで福島の名産の買い物など応援する。

(4) 神奈川県内 (関東近県) への避難を余儀なくされている方々の環境課題へ (県内支援)

当会は、現地福島に行き、直接福島で応援することを主体とした活動であるが、神奈川県内にも多くの方が避難されている。当会のマンパワーとしての体力もあり、本課題は「かながわ避難者と共にあゆむ会」の活動を通して県内支援活動を進める。(一部、共催・協力として活動資金を拠出し進める)

- ①具体的に、避難者の方々同志のネットワーク作りのお手伝いをしていく。

(5) 情報発信 (情報発信)

- ①当会の活動を通してHPで、福島の情報発信する。
- ②「かながわ避難者と共にあゆむ会」の活動を通して、講演会なども行い情報発信する。

4. 全体事業実績（概要）

バス料金の対策、現地環境の変動、現地環境の調整等、課題が多い年度であった。対策に奔走をせざるを得ない部分は多あり、十分と言える活動で無い部分はあったが支援の継続を着実に歩むことができた。平成 27 年度も継続する。

| 事業詳細 | | 上段：計画 / 下段：実績（詳細は各事業毎で説明） | |
|------|------------------|---------------------------|--|
| 事業 1 | 直接活動① (福島バス) | 計画 | 4 月、6 月便を計画し、以降は現地ニーズを確認し、進める。 【予算は 4 月、6 月便のみ計上。変更は追加で組み込む】 |
| | | 実績 | <u>4 月便は計画通りに実施</u> 、6 便は現地環境の変化により、 <u>実施は無しとなった</u> 。事前に 4 月後半に現地に赴き確認した。 |
| 事業 2 | 直接活動② (仮設住宅) | 計画 | 毎月 1 回福島 <small>の</small> 社協・地元支援団体・応急仮設住宅の自治会などを訪問し、現地情報を取り込む。 【予算は福島訪問 n 便として計上する】 |
| | | 実績 | 4 月より、 <u>バス料金の負担が大きくなり</u> 、 <u>訪問先は 21 か所を実施</u> 、訪問便としては <u>4 回</u> に留まった。 (仮設訪問：6 か所、活動団体：5 か所、社協他：10 か所) |
| 事業 3 | 直接活動③ (南相馬バス) | 計画 | 毎月 1 回福島にボランティアバスを出す。 【予算は福島 n 便（南相馬 n 号）として毎月計上する】 |
| | | 実績 | 4 月より、 <u>バス料金の負担が大きくなり</u> 、参加費の倍額変更を行った。若い世代の参加が厳しくなった。 <u>概ね、計画通りに実施</u> した。 <u>現地社協との繋がりも一層強くなった</u> 。 |
| 事業 4 | 県内支援① (交流会) | 計画 | あゆむ会に共催・協力により、コミュニティ作りを応援。 【予算は拠出金として上期・下期で計上する】 |
| | | 実績 | <u>概ね計画の通りに実施</u> した。 バス料金の対策、現地受入れ先での課題調整などにより、 当会自体の運営にやや重きを置かざるを得なかった。 |
| 事業 5 | 情報発信 | 計画 | 都度活動情報を HP で発信する（予算不要） 講演などはあゆむ会と共催・協力で進める。 【予算は拠出金として上期・下期で計上する】 |
| | | 実績 | <u>まだまだ不十分</u> 、福島 <small>の</small> 現地を伝える講演会など、当会の活動として、平成 27 年度は注力する必要がある。 |
| 事業 6 | その他活動 | 計画 | 現地訪問、事業 2 とは別に情報交換を目的として現地地訪問を計画する。セミナーなど参加。 【予算は現地訪問費として計上する】 |
| | | 実績 | <u>バス料金の対策、現地環境の変動、現地環境の調整等、課題が多い年度であった</u> 。対策に奔走をせざるを得なかった。 |

5. 事業実績詳細

(1) 事業1 <直接活動① (福島バス) >

①現地課題

子供たちが通う通学路などを含めて、ホットスポットが潜在する。
 少しでも安心して生活ができる環境を取り戻す必要がある。

②活動結果

会員による花見山公園訪問、スタッフの視察便を行った。現地環境の変化もあり、本活動は終了とした。今後、現地の活動再開等があれば参加したい。

③活動実績

| 計画 | 計画 | 実績 | | |
|----|---------------------|-----------------|-------|------|
| | | 実施日 | 実施内容 | 参加者数 |
| 4月 | 福島 35 便 (花見山公園 2 号) | 2014. 04. 11-12 | 同左 | 17 名 |
| 6月 | 福島 38 便 (福島 23 号) | 2014. 04. 25-26 | 福島視察便 | 4 名 |
| — | — | 福島 38 便 | 活動中止 | — |

④予算実績 (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 246,500 | 117,300 | バス代 | 237,600 | 118,800 |
| 寄付繰越 | 39,182 | 39,182 | 高速代 | 27,650 | 14,230 |
| — | — | — | 仮眠所代 | 10,000 | 4,740 |
| — | — | — | 残留費 | 10,000 | 0 |
| — | — | — | 振込手数料 | 432 | 486 |
| — | — | — | 旅行保険 | 0 | 3,332 |
| 合計 | 285,682 | 156,482 | 合計 | 285,682 | 141,588 |
| | | | 収支 | 0 | 14,894 |

⑤参加者の声

・今回は観光ボラでしたので初体験。初めて参加しましたが、大変楽しく違う季節にまた訪れたいと思います。

・観光も大事なこと、ゆっくり福島の良いところを見ることができて良かったです。花見山公園は個人の方の土地だということに本当にびっくりです。

・大変楽しませていただき、福島がさらに好きになりました。

・いつまでも末永く福島を大切にしていきたいと思います。

<参加者>



(2) 事業2 <直接活動② (仮設住宅) >

①現地課題

東日本大震災以来3年の避難生活が続けられている。

当初からの不慣れな仮設住宅での生活に加え

- ・避難生活の長期化により孤独死、自殺が増えてきていると聞く。
- ・復興住宅の建設が進む、新たなコミュニティ作りが、新たな課題となる。
- ・震災以来3年が経ち、風化がさらに加速する。

②活動結果

毎月一便の活動はできませんでしたが、現地に行き、お話を伺うことはとても大切です。

来期、年に4回程になりますが、訪問を継続します。

③活動実績

| 計画 | 計画 | 実績 | | |
|---------------|---------------------|---------------|--------|--------|
| | | 実施日 | 実施内容 | 訪問先 |
| 5,6,7,9,12,1月 | 福島訪問1-3,5,8-9,11-12 | 欠便 | — | — |
| 8月 | 福島訪問4便 | 2014.08.28-30 | 同左 | 8か所訪問 |
| 10月 | 福島訪問6便 | 2014.10.24-25 | 同左 | 南相馬3団体 |
| 11月 | 福島訪問7便 | 2014.11.15 | ものづくり | 県サポ |
| | | 2014.11.17 | 同左 | 福島会議 |
| 2月 | 福島訪問10便 | 2015.02.22 | 同左(8便) | 9か所訪問 |

④予算実績 (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 299,200 | 11,360 | 高速代 | 94,270 | 20390 |
| 寄付繰越 | 146,070 | 146,070 | ガソリン代 | 99,000 | 18,849 |
| 支援金2 | 100,000 | 100,000 | 宿泊費用 | 352,000 | 38,160 |
| | | | 交通費 | 0 | 27,340 |
| | | | 雑費 | 0 | 7,570 |
| | | | 資材・材料費 | 0 | 15,236 |
| | | | 通信費 | 0 | 205 |
| | | | レンタカー代 | 0 | 14,834 |
| 合計 | 545,270 | 257,430 | 合計 | 545,270 | 142,584 |
| ※支援金2は全て活用させていただいた。 | | | (内参加費) | 299,200 | 11,360) |
| | | | (内寄付繰越) | 146,070 | 31,224) |
| | | | (内支援金2) | 100,000 | 100,000) |
| | | | 収支 | 0 | 114,846 |

寄付繰越分の残額 (114,846円) を次年度に活用。

⑤訪問状況。

箇条書きに、現在、今後の課題を列挙します。

- ・「応急仮設住宅の空き家」、「応急仮設住宅の集約化」、「残る方の不安」、「移り住む方の不安」、「移る方、残る方の気兼ね・わだかまり」、「応急仮設住宅の老朽化」、「応急仮設住宅の高齢化」、「応急仮設住宅のコミュニティ維持」、「補償の問題」
- 『従来からの課題』、『3年経過の課題』、『新たな課題』と変わらぬ「住民の悔しさ」。

⑥訪問様子。



飯舘村の仮設（旧松川小）



福島大学ボランティアによる足湯



飯舘村の仮設（松川工業団地第一）



飯舘村の仮設（松川工業団地第二）



浪江町の仮設（小田部）



浪江町の仮設（小田部）

(3) 事業3 <直接活動③ (南相馬バス)>

①現地課題

平成 28 年度の避難区域解除に向け、長年手入れができていなかった、家屋・家屋周りの片づけのニーズが増える、またの活動マンパワーが必要とされる。

②活動結果

家屋の傷みは家の状態により違うが、丸4年間、住めない家の傷みは激しい未だ、ボランティアの片付けを知らない方も多い。

南相馬市の小高区は平成8年4月に避難指示解除準備区域など解除の計画にある片づけの要望は潜在していると思う。できることのお手伝いを継続したい。

③活動実績

| 計画 | 計画 | 実績 | | |
|-----|--------------------|-----------------|--------|------|
| | | 実施日 | 実施内容 | 参加者数 |
| 4月 | 福島 36 便 (南相馬 11 号) | 2014. 04. 25-26 | 同左 | 20 名 |
| 5月 | 福島 37 便 (南相馬 12 号) | 2014. 05. 23-24 | 同左 | 20 名 |
| 6月 | 福島 39 便 (南相馬 13 号) | 2014. 06. 27-28 | 同左 | 18 名 |
| 7月 | 福島 40 便 (南相馬 14 号) | 中止 | バス料金対策 | — |
| 8月 | 福島 41 便 (南相馬 15 号) | 2014. 08. 22-23 | 同左 | 20 名 |
| 9月 | 福島 42 便 (南相馬 16 号) | 2014. 09. 26-27 | 同左 | 20 名 |
| 10月 | 福島 43 便 (南相馬 17 号) | 2014. 10. 24-25 | 同左 | 8 名 |
| 11月 | 福島 44 便 (南相馬 18 号) | 2014. 11. 21-22 | 同左 | 17 名 |
| 12月 | 福島 45 便 (南相馬 19 号) | 2014. 12. 12-13 | 同左 | 18 名 |
| 1月 | なし (冬季に付き) | 予定なし | — | — |
| 2月 | 福島 46 便 (南相馬 20 号) | 2015. 02. 20-21 | 同左 | 18 名 |
| 3月 | 福島 47 便 (南相馬 21 号) | ボラセン移転 | 活動なし | — |

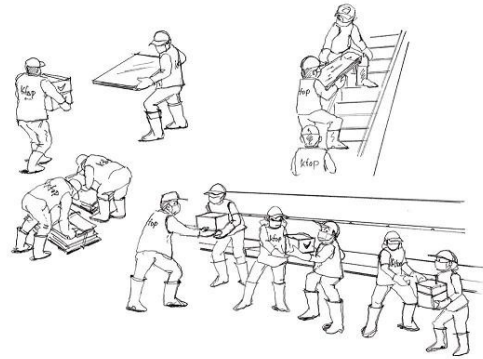
④予算実績 (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 1,421,200 | 1,405,000 | バス代 | 1,306,800 | 1,479,233 |
| 寄付繰越 | 99,276 | 99,276 | 高速代 | 146,300 | 127,960 |
| 支援金 1 | 100,000 | 150,000 | レンタカー代 | 165,000 | 134,170 |
| — | 0 | 0 | 振込手数料 | 2,376 | 1,728 |
| | | | 仮眠所代 | 0 | 25,488 |
| | | | ガソリン代 | 0 | 17,088 |
| | | | 洗車代 | 0 | 1,300 |
| | | | 参加費残 (寄付) | 0 | 2,982 |
| 合計 | 1,620,476 | 1,654,276 | 合計 | 1,620,476 | 1,789,949 |
| ※不足額は事業6予算を充当 | | | 収支 | 0 | ▲135,673 |

⑤活動の様子



2014-04-26 福島 36 便 (南相馬 11 号)



2014-05-24 福島 37 便 (南相馬 12 号)



2014-06-28 福島 39 便 (南相馬 13 号)



2014-09-27 福島 42 便 (南相馬 16 号)



2014-10-25 福島 43 便 (南相馬 17 号)



2014-11-22 福島 44 便 (南相馬 18 号)



2014-12-13 福島 45 便 (南相馬 19 号)



2015-02-20-24 福島 46 便

⑥参加者の声（一部です）

【 20140426 福島 36 便 】

- ・家主の方の表情は明るく、申し訳ないほど私達に気をつけて下さる。以前と同じような街に一日も早く戻れることを祈るばかりです。
- ・メディアで知るだけの情報から考えていたことが、実際に訪れたことで大きく変わりました。今後も福島に関わり続けたいです。
- ・宮城県、岩手県では瓦礫や側溝の泥だし、家屋内の片づけなどのニーズは既に終わっているが、福島はまだこれから、民間ボランティアの人手が必要としていることが分かった。

【 20140524 福島 37 便 】

- ・家主の方の思い出の品々。処分していく作業の中で、家主の方の寂しそうな笑顔が、なんとも言えない思いにさせられました。
- ・家財の方付けでいつも思うのは本当に捨ててしまっていて良いの？と思いき悲しくなることです。
- ・最後の作業終了報告とご挨拶の時、依頼主様の言葉と涙に参加者一同福島への思いを新たにしました。

【 20140628 福島 39 便 】

- ・立派な家、庭、どうしてここに住むことができないのか、複雑な思いです。福島の様子、災害の様子を伝えたいと思っています。そして、横浜の子供たちが福島のためにできることはないか考えています。
- ・今回のお手伝いに限らず、今まで使い込んできた家具等を片づける（処分する）ことは、毎回複雑な心境となります。
- ・小高でボランティアをしたのは初めてですが、来て良かった。次回も参加したいと思っていますが、日程が合うかどうかです。

【 20140823 福島 41 便 】

- ・家主さんの「二年後にまた来てください」の言葉、1日頑張った良かった、と強く感じた。
- ・「今ごろ」初めてボランティアとして活動した私だった、が「今ごろ」でもやって良かった。
- ・ボラセンで隣に座った男性が、東京から新幹線で福島まで来て、一泊し2時間かけて原ノ町駅に来たと言っていました。横浜からボラバスで直接ここまで来られるのを伝えると、今後参加したいとおっしゃっていました。
- ・依頼主さんのお話をお聞きしまして、日本に住む一人一人が少しずつ辛さや悲しみを負担しなければ、と改めて感じました。

【 20140927 福島 42 便 】

- ・2日間、皆様と共に行動させていただき、マスメディアからは伝わらない現地の状況を理解させていただきました。終日の活動から、ご依頼された方に心を込めてお応えする事が支援

の基本だと言う事を教えていただいた様に思います。

- ・神奈川県民として同じ日本の一国民として、行動を起こす大切さをこれまで以上に強く感じました。福島の皆様のささやかな支えとなり、安心な暮らしを戻して頂く日のために今後も応援していきたいと思い、自分ができる事をさせていただき、福島を、kfopを応援させていただきたいと思います。
- ・kfopバス、現在抱えている課題は参加費です。現在6,800円とさせていただいていますが、今後倍額以上にならざるを得ません。

【 20141025 福島 43 便 】

- ・初めと終わりで、作業以上に、ご依頼主様からいただいた言葉にとっても感謝しました。
- ・『皆さん大汗。ご参加いただきました皆さん、お疲れ様でした。』

【 20141122 福島 44 便 】

- ・活動そのものではないが、南相馬市の次第に活気が戻りつつある、連休の週でもあるが、地元の人やボランティアの車も多く、ほっとした。一方帰路に飯舘村を通過するときは、**集落**が夕暮れの中で灯りも見えず辛かった。
- ・同じ国民として福島のみなさんを支える、具体的な活動をこれまで同様に継続して頂くことを強く望みます。kfopがあるから私もお手伝いができる機会を得られていますので。

【 20141213 福島 45 便 】

- ・2年前と変わらぬニーズがあり、久しぶりのマッチングでした。やはり現地に来ないと分からないことが沢山あることを再認識しました。
- ・**福島の方のくやしさを、胸の内に押さえていること**。改めて知ることができました。横浜でももっともって伝えていきたいと思います。
- ・継続的にバスを出して頂くために、企業や他から援助頂くことを進めて行かないと、参加費が上がり、行きたいが負担も大きくなってしまったと思います。

【 20150221 福島 46 便 】

- ・主な作業は、家屋内の片付け、残すもの以外は何時ものように、全て廃棄が、ご依頼です。
- ・家屋の中は、何時もの通りですが、今回は特に、踏み抜けるほど床の状態が悪く、渡し板を伝いながらの作業となりました。**誰も住むことができなかつた家、人が住まないといくんなにも荒れてしまいます**。このようなお宅は、まだまだ沢山あると思います。

(4) 事業4 <県内支援①(交流会)>

①現地課題

神奈川に多くの方が避難生活をされている、今なおコミュニティが分断されている。人と人、人と町のつながりのコミュニティ作りが必要と思われる。

②活動結果

避難されている方の情報把握が増え、交流会は参加者も100人を超えた。ただし、避難されている方が主体となるコミュニティ形成には至っていない。今後とも、継続が必要である。

③活動実績

- ・神奈川県内での交流会
 - ・第5回/第6回ふるさとコミュニティinかながわ開催など
- 詳細はNPO法人かながわ避難者と共にあゆむ会のHPをご参照ください。

④予算実績(単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|----------------|--------|---------|---------|--------|---------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 寄付繰越 | 20,000 | 20,000 | あゆむ会拠出金 | 70,000 | 120,000 |
| 支援金1 | 0 | 50,000 | ぶどう送料 | 0 | 3,376 |
| 支援金2 | 50,000 | 50,000 | 消耗品費 | 0 | 1,222 |
| | 0 | 0 | 振込手数料 | 0 | 270 |
| 合計 | 70,000 | 120,000 | 合計 | 70,000 | 124,868 |
| (不足額は事業6残額を充当) | | | 収支 | 0 | ▲4,868 |

※県内避難者支援は「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共催・協力で活動実施した。

④全体交流会(あゆむ会より)

第5回 東日本大震災避難者交流会
ふるさとコミュニティinかながわ
 ～会いたい。ともに歩もう～

東日本大震災ならびに原発事故により神奈川県および近隣地区に避難されている方々を対象としたイベントです。同じ故郷の方々との出会い・交流・語り合い、そして楽しいひとときを過ごしていただけるように、さまざまな催しをご用意しています。

9月15日(月・祝) 従来の会場と変わりました! **入場無料 昼食付**
 午前10時30分～午後4時まで

●場所: 吉野町市民プラザ (横浜市南区) *事前のお申し込みが必要です
※入場の際は東日本大震災の避難者の方となります。詳しくは裏面の案内をご確認ください。

催しもの ※事前より予告なく変更・中止となる場合があります。
 ●「横浜(しほは)せんたん大鼓保存会」による近力ある太鼓の演奏
 ●身体表現ユニット「かなりやとらばん」と心奪う日本の名曲を一緒に歌いましょう

第6回 東日本大震災避難者交流会
ふるさとコミュニティinかながわ
 ～会いたい。ともに歩もう～

東日本大震災ならびに原発事故により神奈川県および近隣地区に避難されている方々を対象としたイベントです。同じ故郷の方々との出会い・交流・語り合い、そして楽しいひとときを過ごしていただけるように、さまざまな催しをご用意しています。

3月28日(土) 午前10時00分から午後3時30分まで **入場無料 昼食付**
 場所: 波止場会館 (横浜市中区) *事前のお申し込みが必要です
※入場の際は東日本大震災の避難者の方となります。詳しくは裏面の案内をご確認ください。

催しもの ※事前より予告なく変更・中止となる場合があります。
 ●福島県大瀬町の伝統芸能 熊川稚児鹿舞 (くまがわこしまい)
 ●Arearea(アレアレア) 歌と演奏のステージ
 ●民謡伝承全国大会優勝者 南相馬出身 藤沢しげの 民謡ステージ

2012年9月に富岡町の交流会に参加され、「私を知っている人いませんか?」と尋ねておられた97歳のお爺さん。今は100歳。どうされているのでしょうか。いつも気になってしょうがありません。

(5) 事業5 <情報発信>

①現地課題

- ・風評被害、福島産物・地への不安が今なお続く
- ・復旧、復旧すらまだ進んでいない現実があることを多くの方が知らない。
- ・風化、復興が叫ばれ、今なおある現実を多くの方が知らない。

②活動結果

- ・HPで活動様子を紹介
- ・HPで福島のネット販売の方などを紹介
- ・継続して、講演会なども開き福島の情報を発信していきたい。

③活動実績

- ・発信は、HP掲載
- ・あゆむ会の活動内容は、あゆむ会のHPをご参照ください。

④活動予算実績 (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 寄付繰越 | 10,000 | 10,000 | あゆむ会拠出金 | 60,000 | 60,000 |
| 支援金2 | 50,000 | 50,000 | — | 0 | 0 |
| 合計 | 60,000 | 60,000 | 合計 | 60,000 | 60,000 |

※「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共催・協力で活動実施した。

⑤勉強会の様子 (あゆむ会より)

| | |
|--|---|
| <p>11/30 「広域避難者ミーティング in かながわ」</p> | <p>【講演会】東日本大震災避難者の現状を知る講演会</p> <p>ふるさと作品展、フリーマーケットと同会場内で講演会を開催します。ぜひご来場ください。</p> <p>●ふくしまココロとカラダの健康について 日時：2015年3月8日(日) 午前10時～12時半 会場：かながわ県民センター2階ホール 入場無料(定員100名)、当日受付 講師：NPO法人 ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト</p> <p>「NPO法人 ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト」が取り組んでいる活動を紹介させていただきます。 同団体は、東京電力福島原発事故の後に発生した当事者団体「つながろう！放射能から避難したママネット」の母親たちの呼びかけにより、福島の子どもたちを守り、家族の幸せを取り戻すための活動と、その社会的認知向上および福祉支援の必要性を求めて設立した法人です。子どもたちの健康と安全を願い、東日本震災後と共に生きるすべてのいのちが尊重される社会づくりに参画するため、地域の子育て団体や企業・行政機関・専門家との連携を回りながら様々な活動に取り組んでいます。</p> <p>●避難者の置かれている現状について 日時：2015年3月8日(日) 午後1時～3時半 会場：かながわ県民センター2階ホール 入場無料(定員100名)、当日受付 講師：福島原発かながわ訴訟原告団</p> |
|--|---|

⑥福島発信

| | |
|--|--|
| <p>相馬のおんちやまセット 特設通販ページ http://www.somanoonchama.com/</p> | <p>里山ガーデンファーム WEB ショップ http://www.nihonmatsu-farm.com/</p> |
|--|--|

(6) 事業6 <その他活動、会の維持管理>

①現地課題

現地に行かないと中々分からない。

事業2も含めて、平日に現地の社協・行政への訪問も行い、情報交換を図る必要がある。

②活動結果

バス料金の対応、参加費の調整、参加者の減少など課題が多く、

現地訪問は十分にできなかった、平成27年度、確実に実施を図っていききたい。

当事業直接での訪問は実施できなかったが、仮設訪問等に合わせ訪問を行った。

また、現地との繋がりには維持できている。

③活動実績

| 計画 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|-----------|------|----|---|
| | | | 回数 | |
| 通期 | 現地訪問 (3回) | 直接回数 | 0 | 0 |

④活動予算実績

(単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 会費繰越 | 39,529 | 39,529 | 現地訪問費 | 36,735 | 0 |
| | | | 印刷費 | 2,794 | 2,794 |
| | | | 消耗品費 | 0 | 5,963 |
| | | | 雑費 | 0 | 8,382 |
| | | | 振込手数料 | 0 | 972 |
| 寄付繰越 | 83,265 | 83,265 | 現地訪問費 | 83,265 | 0 |
| 新規会費 | 50,000 | 179,000 | 印刷費 | 17,206 | 3,624 |
| | | | ロッカー費 | 1,280 | 1,282 |
| | | | チラシ作製 | 3,000 | 2,430 |
| | | | 消耗品費 | 2,000 | 2,000 |
| | | | 通信費 | 10,000 | 5,301 |
| | | | 雑費 | 16,514 | 16,514 |
| 新規寄付 | 60,000 | 80,000 | 現地訪問費 | 30,000 | 0 |
| | | | 寄付活動 | 30,000 | 0 |
| | | | 他団体寄付 | 0 | 20,000 |
| 受取利息 | - | 61 | - | - | - |
| 合計 | 232,794 | 381,855 | 合計 | 232,794 | 69,262 |
| | | | 収支 | 0 | 312,593 |

※訪問予算は来期に繰越し、浜通り1、中通2か所に訪問実行する。

※収支残の一部は、事業3、4の不足へ充当。

(7) 事業費実績総計

(単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 会費繰越 | 39,529 | 39,529 | 事業1 | 285,682 | 141,588 |
| 寄付繰越(寄付口) | 397,793 | 397,793 | (内寄付繰越) | 39,182) | 24,288 |
| 新規会費 | 50,000 | 179,000 | 事業2 | 545,270 | 142,584 |
| 新規寄付(寄付口) | 60,000 | 80,000 | (内寄付繰越) | 146,070) | 31,224 |
| 支援金1(寄付口) | 100,000 | 200,000 | (内支援金2) | 100,000) | 100,000 |
| 支援金2(寄付口) | 200,000 | 200,000 | 事業3 | 1,620,476 | 1,789,949 |
| 事業1参加費 | 246,500 | 117,300 | (内寄付繰越) | 99,276) | 234,949 |
| 事業2参加費 | 299,200 | 11,360 | (内支援金1) | 100,000) | 150,000 |
| 事業3参加費 | 1,421,200 | 1,405,000 | 事業4 | 70,000 | 124,868 |
| 受取利息 | - | 61 | (内寄付繰越) | 20,000) | 24,868 |
| — | — | — | (内支援金2) | 50,000) | 50,000 |
| — | — | — | 事業5 | 60,000 | 60,000 |
| — | — | — | (内寄付繰越) | 10,000) | 10,000 |
| — | — | — | (内支援金2) | 50,000) | 50,000 |
| — | — | — | 事業6 | 232,794 | 69,262 |
| — | — | — | (現地訪問) | 150,000) | 0 |
| — | — | — | (印刷費) | 20,000) | 6,418 |
| — | — | — | (キャビネ費) | 1,280) | 1,282 |
| — | — | — | (チラシ作製費) | 3,000) | 2,430 |
| — | — | — | (消耗品費) | 2,000) | 7,963 |
| — | — | — | (通信費) | 10,000) | 5,301 |
| — | — | — | (寄付活動費) | 30,000) | 0 |
| — | — | — | (線量計保守費) | 0) | 0 |
| — | — | — | (雑費) | 16,514) | 24,896 |
| — | — | — | (振込手数料) | — | 972 |
| — | — | — | (他団体寄付) | — | 20,000 |
| 合計 | 2,814,222 | 2,630,043 | 合計 | 2,814,222 | 2,328,251 |
| | | | 収支 | 0 | 301,792 |

※支援金1は、azbil みつばち倶楽部 様に、ご支援いただいた。

※支援金2は、一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様に、ご支援いただいた。

※(寄付口)は、寄付口座より、事業費(会費口座)へ振替額を示す。

(8) 寄付実績総計

(単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------|---------|-----------|----------|---------|---------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 寄付繰越 | 397,793 | 397,793 | (事業1) 振替 | 39,182 | 39,182 |
| 新規寄付 | 60,000 | 258,045 | (事業2) 振替 | 146,070 | 146,070 |
| 受取利息 | - | 36 | (事業3) 振替 | 99,276 | 99,276 |
| | | | (事業4) 振替 | 20,000 | 20,000 |
| | | | (事業5) 振替 | 10,000 | 10,000 |
| | | | (事業6) 振替 | 143,265 | 163,265 |
| 支援金1 | 100,000 | 200,000 | (事業3) 振替 | 100,000 | 150,000 |
| | | | (事業4) 振替 | - | 50,000 |
| 支援金2 | 200,000 | 200,000 | (事業2) 振替 | 100,000 | 100,000 |
| | | | (事業4) 振替 | 50,000 | 50,000 |
| | | | (事業5) 振替 | 50,000 | 50,000 |
| 合計 | 757,793 | 1,055,874 | 合計 | 757,793 | 877,793 |
| | | | 収支 | 0 | 178,081 |

※支援金1は、azbil みつばち倶楽部 様に、ご支援いただいた。

※支援金2は、一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様に、ご支援いただいた。

※(事業1)～(事業6) は、寄付口座より、事業費(会費口座)へ振替額を示す。

(9) 総事業会計

| 収入 | | | 支出 | | |
|-------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 事業総収入 | 2,056,429 | 1,752,250 | 事業総費用 | 2,814,222 | 2,328,251 |
| 寄付総収入 | 757,793 | 1,055,874 | (事業振替) | 757,793 | 877,793 |
| 合計 | 2,814,222 | 2,808,124 | 合計 | 2,814,222 | 479,873 |
| | | | 収支 | 0 | 479,873 |
| | | | (会費口繰越) | 0 | 301,792 |
| | | | (寄付口繰越) | 0 | 178,081 |

※事業収入へ寄付収入を計画 757,793 円、実績で 877,793 円を振り替えており
 当該額を事業総収入から差し引いている(重複計上しない)。

6. 平成26年度、役員・スタッフ

| 役割 | 区分 | 氏名 | 担当役割 |
|------|-----|-------------|--------------------|
| 代表 | 役員 | 渡辺 孝彦 | 兼務 (会計、渉外、あゆむ会) |
| 広報 | 役員 | 東 尚子 | 兼務 (県内支援担当、あゆむ会広報) |
| バス | 役員 | 戸沢 正弘 | バス運営 (現地活動リーダー) |
| 情報 | 役員 | 村上 幸 | 情報収集 |
| 事務 | 役員 | 山下 圭子 | 事務管理 (参加者名簿、座席表など) |
| 相談役 | 役員 | 山内 淳、御園生 芳行 | 相談事項、会計監査 |
| 全体支援 | 非役員 | 5名 | バス支援、県内支援の全てを行う |
| バス支援 | 非役員 | 1名 | バス支援を行う |
| 県内支援 | 非役員 | 4名 | 県内支援を行う |

7. 平成26年度、会員状況/参加者状況

(1) 会員状況「() 内は、新規会員数」

| 区分 | 総人数 | 女性数 | 男性数 |
|--------|-------------|------------|-------------|
| 正会員 | 75名 (3) | 30名 (3) | 45名 (0) |
| 一般会員 | 93名 (2) | 34名 (1) | 59名 (1) |
| 登録メンバー | 89名 (19) | 40名 (5) | 49名 (14) |
| 合計 | 257名 (24) | 104名 (9) | 153名 (15) |

(2) 便別参加者状況「毎便、定員18名、() 内は、初参加者数」

| 便名 | 実施月日 | 参加者数 | 女性参加者数 | 男性参加者数 |
|-------|-----------|----------|---------|----------|
| 福島35便 | 4月12日(土) | 17 (2) | 9 (1) | 8 (1) |
| 福島36便 | 4月21日(土) | 20 (7) | 7 (2) | 13 (5) |
| 福島37便 | 5月24日(土) | 20 (1) | 6 (0) | 14 (1) |
| 福島39便 | 6月28日(土) | 15 (2) | 2 (0) | 13 (2) |
| 福島41便 | 8月23日(土) | 19 (2) | 8 (2) | 11 (0) |
| 福島42便 | 9月27日(土) | 20 (2) | 8 (1) | 12 (1) |
| 福島43便 | 10月25日(土) | 8 (1) | 3 (1) | 5 (0) |
| 福島44便 | 11月22日(土) | 17 (3) | 10 (3) | 7 (0) |
| 福島45便 | 12月13日(土) | 17 (0) | 5 (0) | 12 (0) |
| 福島46便 | 2月21日(土) | 18 (0) | 8 (0) | 10 (0) |
| 合計 | — | 171 (20) | 66 (10) | 105 (10) |

8. 平成26年度(2014年度)総括

(1) 現地活動

福島バスは視察便を含め2回、仮設訪問等が3回、南相馬バスが10回、合計で15回実施した。延べ参加者数は180名。初参加者20名(内10名が女性)。

①福島バスは、視察便により、現地環境の変化を確認し、課題はあるものの、現地ニーズによる活動であり、現地に合わせ中断とした。福島を知るボランティアとして、花見山公園の散策・訪問(参加者負担)は実施した。

②応急仮設等訪問は、南相馬1回、いわき市1回、中通り1回を行い、地元活動団体の訪問、JCN主催の会議を通しての他団体交流も行った。そして飯舘村、浪江町の応急仮設住宅5か所の訪問を実施した。“それぞれの立場・環境において、必要とされることは様々である”、再度確認した。

・地元は、『新しい事業の創生』、そして「お母さんたちが集える場」、「子供が集える場」、などなど“そこに住む目線”が望まれる。また多くの方々の「地元の誇り」を強く感じた。地元に住まない私達は何ができるのか、地元の方の受入は、ご年配の方々は、など、まだまだ、関わること、継続し訪問は必要である。

・応急仮設住宅は、復興住宅の建設が進んでおり、「応急仮設住宅の空き家」、「応急仮設住宅の集約化」、「残る方の不安」、「移り住む方の不安」、「移る方、残る方の気兼ね・わだかまり」、「応急仮設住宅の老朽化」、「応急仮設住宅の高齢化」、「応急仮設住宅のコミュニティ維持」、「補償の問題」など、『従来からの課題』、『3年経過の課題』、『新たな課題』と、課題の変化はある。「住民の悔しさ」は変わらぬ課題である。それら課題を常に意識するため継続して関わることは大事である。知らない人も多い。

③南相馬バスは、毎月一便の計画で、概ね実施した。地元では平成28年に避難指示解除準備区域の解除が計画されている。帰る・帰らない・帰りたいが帰れないなど、立場、環境によりこれも様々である。その中、震災・事故以降4年も住むことのできない家々の傷みは激しい、家の中の想いの品々を全て処分、参加者にとっても、依頼される方にとっても、それぞれに思うものがある。次への一歩でもある。次への一歩のお手伝いである。支援も立場により様々、受入れも立場により様々、しかしながら、必要とされることはある、『純粋なボランティア』の立場として応援を続けたい。また、復興とは何か、活動の中で、参加者もそれぞれに考えるキッカケになっている。現地に行き、現地を知り、地元(神奈川など)に伝える。自分の目・耳・体で感じること、大事である。

そして、バス運行費は継続の課題である、現在の参加費は参加者にとり負担である。安全運行は維持し、一人でも多くの方に参加していただくため、努力を継続する。

(2) 県内支援

発災から4年、5年、避難者同士のコミュニティ作り、そして支援団体間のネットワーク作りを目指し「かながわ避難者と共にあゆむ会」と活動を続けてきた。交流会の開催は進み、避難者の方の情報も少しずつ増え、ふるさとコミュニティも参加者が100人を超えた。しかしながら、当事者の方自らのコミュニティ作りにはまだ至っていない。

交流会の継続は必要である、「支えています」のメッセージは絶やしてはいけない。ただし、楽しい交流会に終始しても、課題解決には至らない。避難者の方が主体となる動き、課題を発信する動き、ふるさとと繋がる動きへ、支えが望まれる。

避難者を取り巻く環境は、発災から5年目を迎え、避難指示解除準備区域の解除の動き、など2012年秋、そしてこの2015年以降に2回目の大きな変動の時期となる。帰る・帰らない・帰りたいが帰れない、自主避難、補償・生活費、高齢化、避難先への定住、と状況は変化するが、避難を余儀なくされた方々の置かれた状況は変わらない、避難指示解除準備区域の解除の動きに連動し住まいの供与期限など、新たな課題も生む。

避難者同士のコミュニティ⇒自ら主体となるコミュニティ⇒課題への取り組み、支援団体間のネットワーク⇒支援の収束の動き⇒地域ネットワークへ、あゆむ会または、kfopとしても目的を持った活動の継続は必要である。

(3) 情報発信

HPで、活動の様子等の発信を行っているが、十分ではない

参加者が参加する形での情報発信、伝える、は必要である。

当会の活動の体力として、の課題もあるが、HPの発信に加え、講演会・勉強会など、独自な開催を計画したい。

①視察研修便、年に2回程度、福島の現地活動とは別に、視察・研修を行い、地元の方の話も伺い、当時のこと・現在のこと・今後のことなど、神奈川に住む方に現地に行き、聞いていただき、また伝えていきたい。

②講演会、年に2回程、もっとできれば、同じく、参加者が参加できる形での勉強・情報発信をしていきたい。

③その他、当会の活動自身、伝える機会があれば伝えていきたい。

最後に、当会は、多くの個人の皆様、支援の皆様を支えられ活動の継続ができています。感謝する共に、より多くの皆様の、福島応援の継続を期待します。

当会は、目立ちはしませんが、粛々と、地道ながら活動・継続しました。

Ⅲ. 2015年度活動計画(平成27年度)

1. 福島の問題

東日本大震災から丸4年が経過、課題の変化はあるが、本質は変わっていない。
復旧・復興、まだまだこれからであり、この先も厳しい状況は続くものと思われる。

(1) 現地活動

現地は、発災から5年目、避難指示解除準備区域などの解除の動きが出てくる、南相馬市小高区もその一つであり、4年住むことのできなかつた家々は傷み、その家屋などの片付けなどはまだまだ行き届いていない、是非も色々あるが、要望もある。私達は、純粋なボランティアとして、次への一歩への僅かなお手伝いをしていく。 【課題1】

応急仮設住宅もまた広域避難者も復興住宅・避難指示解除準備区域の解除の動きと合わせて歪が出てくる。応急仮設住宅・復興住宅と関わり続ける。 【課題2】

活動のみならず、現地を視察・研修する形で地元の方の話、被災地のその時、今、これからも知り、伝えることは重要である。視察研修を実施する。 【課題3】

(2) 県内支援

神奈川県には4千人を超える避難者の方が居る、自主避難・未登録の方を含めるとさらに多いものと思う、未だに誰がどこに居るのかが分からない方が多い、避難者自らのコミュニティ作りを応援し、情報が集約(受け・発信)でき、ふるさととも繋がり、明るい生活、時には課題への取り組みなど、当事者の方々の応援を続ける。 【課題4】

(3) 情報発信

HPで活動の様子を伝えているが、ほんの僅かな発信でしかない、地元の方をお呼びし、地元のことを伝える、神奈川の方に参加して聞いていただく、など、さらに発展する必要がある。講演会などの開催を進める。 【課題5】

機会があれば、かながわ県民活動サポートセンターで実施される市民活動フェアなどを通して、当会自身の活動紹介も少しではあるが伝えていく。 【課題6】

(4) 維持管理

最後に、当会の維持、地元との繋がり維持として、現地の訪問(行政・社協・地元の団体)も継続する。 【課題7】

2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・活動する上で必要とする知識（安全知識）
- ・活動する上での現地受け入れ団体の長との情報交換（安全の担保）

を行い、活動を進める。

また、現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

活動の為のニーズ作りは行わない。ただし、現地との関わりは長く続けていきたい。

3. 活動目的

（1）現地活動

- ①家屋の片付けまだまだ行き届いていない、純粋なボランティアとして、お手伝いする。
- ②応急仮設住宅・復興住宅と関わり続ける、関わることにより見える現実がある。
- ③活動のみならず、現地を視察・研修する形で地元の方の話、被災地のその時、今、これからも知り、神奈川に伝えていく。

（2）県内支援

避難者自らのコミュニティ作りを応援し、情報が集約（受け・発信）でき、明るい生活、課題への取り組みなど、当事者の方々の応援を続ける。

（3）情報発信

- ①地元の方をお呼びし、地元方の言葉で、講演会により伝える。
- ②当会自身の活動の紹介の機会もあれば、紹介していく。

（4）維持管理

現地を訪問（行政・社協・地元の団体）し、繋がりを維持する。

4. 全体事業計画（概要）

福島の応援事業「直接活動・県内支援・情報発信」とし、以下の活動（事業詳細）を行う。

| 事業詳細 | | 計画 |
|---------|-----------|--|
| 1. 現地活動 | | |
| (1) | 事業 1 ボラバス | 毎月 1 便（除く 1 月）、参加者（定員）18 名 南相馬市小高区の屋外活動を継続し実施する。 |
| (2) | 事業 2 仮設訪問 | 年に 4 回程、参加者 8 名程 浪江町、飯舘町の 50 人規模の応急仮設住宅の訪問を実施する。 |
| (3) | 事業 3 視察研修 | 年に 2 回、参加者 20 名程 正会員を対象として実施する。 |
| 2. 県内支援 | | |
| (1) | 事業 4 県内支援 | あゆむ会に協力し継続。（当事者ネットワーク・支援ネットワーク） 地域ネットワークとして独自活動も進める。 |
| 3. 情報発信 | | |
| (1) | 事業 5 講演会 | 年に 2 回、参加者 40 名程 福島の方をお呼びし、現地状況の話を聞く・交流する。 |
| (2) | 事業 6 市民活動 | 当会の活動を、伝える 神奈川の市民活動フェアに合わせ報告会など検討する。 |
| 4. 維持管理 | | |
| (1) | 維持管理 | 年に 3 回、浜通り 1 回、中通り 2 回、行政・社協・地元団体訪問 地元との繋がり維持に、地元を訪問する。 |

5. 事業詳細

(1) 事業1 ボラバス

①現地課題

発災から5年、避難指示解除準備区域などの解除の動きが出てくる、南相馬市小高区もその一つであり、4年住むことのできなかつた家々は傷み、その家屋などの片付けなどはまだまだ行き届いていない。

②活動目的

純粋なボランティアとして、家屋などの片付けのお手伝いをする。
 復興の形にも色々ある。一つに、被災された方の心の復興も大事である。

③活動計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|-----------------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | 南相馬ボラバス毎月1便(6便) | | | |
| 下期 | 南相馬ボラバス毎月1便(5便) | | | |

④活動予算(単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------------|-----------|----|-----------------------|-----------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 2,534,400 | | 旅費交通費 | 3,460,500 | |
| 繰越金(寄付) | 98,476 | | (バス代,リカー代,仮眠所代,高速代,他) | | |
| 繰越金(会費) | 0 | | 振込手数料 | 2,376 | |
| 新規寄付 | 210,000 | | - | - | |
| 新規会費 | 0 | | - | - | |
| 新規助成金(要調達) | 420,000 | | - | - | |
| 新規支援金(要調達) | 200,000 | | - | - | |
| 合計 | 3,462,876 | | 合計 | 3,462,876 | |

※参加費は、一人12,800円(バス代充当)

(2) 事業2 仮設訪問

①現地課題

応急仮設住宅、広域避難者（見なし仮設に同じ）も復興住宅・避難指示解除準備区域の解除の動きと合わせて歪が出てくる。現地で関わり続けて行かないと見えなくなる。（仮設の空き家、仮設の集約、残る方の不安、移る方の不安、自治会の維持、新たなコミュニティ作り、高齢化、諦め、孤独、従前からの悔しさ、など）

②活動目的

応急仮設住宅を訪問し、少しですが、交流を図り、仮設に住まわれている方に寄り添う。仮設に住む方の課題を知り、関わり続ける。

③活動計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|--------------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | 2回、日程は調整し進める | | | |
| 下期 | 2回、日程は調整し進める | | | |

④活動予算（単位：円）

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----------|---------|----|-------------------|---------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 192,000 | | 旅費交通費 | 339,200 | |
| 繰越金（寄付） | 79,605 | | （高速代,宿泊代,ガソリン代,他） | | |
| 繰越金（会費） | 107,595 | | 雑費 | 40,000 | |
| 新規寄付（要調達） | 0 | | - | - | |
| 新規会費 | 0 | | - | - | |
| 新規助成金 | 0 | | - | - | |
| 新規支援金 | 0 | | - | - | |
| 合計 | 379,200 | | 合計 | 379,200 | |

※活動は、相乗り2台代、参加者8名、参加費は、一人6,000円（全て実費分）

(3) 事業3 視察研修

①現地課題

被災当時の現地、現地の方の話を知らない、現地の状況も4年経過し変わっていく、記録・知る観点からも、視察・研修を行い、伝える必要がある。

②活動目的

視察研修を行い、その時、今、これからを知る
 そして、写真・映像、参加者の研修報告として記録する。

③活動計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|------------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | 1回、帰宅困難区域町 | | | |
| 下期 | 1回、同、他 | | | |

④活動予算 (単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|----------|---------|----|-------|---------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 600,000 | | 旅費交通費 | 515,064 | |
| 繰越金 (寄付) | 0 | | 雑費 | 42,000 | |
| 繰越金 (会費) | 0 | | 保険料 | 8,000 | |
| 新規寄付 | 0 | | 印刷費 | 21,000 | |
| 新規会費 | 0 | | 予備費 | 13,936 | |
| 新規助成金 | 0 | | | | |
| 新規支援金 | 0 | | | | |
| 合計 | 600,000 | | 合計 | 600,000 | |

※参加費は、一人15,000円 (全てバス代、宿泊先代、資料代、保険料、等実費分)

(4) 事業4 県内支援

①現地課題

避難者自らのコミュニティ作りが未だできていない。今後の変動により、さらにバラバラになっていく懸念、なにも無かった様に収束していく懸念がある。
 主体は、避難者の方である、支えていく必要がある。

②活動目的

避難者自らのコミュニティ作り／コミュニティの仕組み作り、ふるさととの繋がり、時には課題発信など、応援していく。支えていく。

③活動計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|----------------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | あゆむ会の活動を通して進める | | | |
| 下期 | 町別、地域、ふるコミなど | | | |

④活動予算 (単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------------|--------|----|-----|--------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 繰越金 (寄付) | 0 | | 会場費 | 10,000 | |
| 繰越金 (会費) | 40,000 | | 雑費 | 20,000 | |
| 新規寄付 (要調達) | 0 | | 緒会費 | 10,000 | |
| 新規会費 (要調達) | 0 | | - | - | |
| 新規助成金 | 0 | | - | - | |
| 新規支援金 | 0 | | - | - | |
| 合計 | 40,000 | | 合計 | 40,000 | |

※諸会費は、あゆむ会への kfop 団体年会費。

(5) 事業5 講演会

①現地課題

HPで活動の様子を伝えているが、ほんの僅かな発信でしかない、不十分。
 地元の方をお呼びし、地元の方の声で伝えることも必要。

②活動目的

講演会などを行い、福島の実地の方の言葉、声で、伝えていく。

③活動計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|---------------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | 1回、日程など調整し進める | | | |
| 下期 | 1回、日程など調整し進める | | | |

④活動予算 (単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|------------|---------|----|-------|---------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 (資料代) | 30,000 | | 旅費交通費 | 128,000 | |
| 繰越金 (寄付) | 0 | | 印刷費 | 30,000 | |
| 繰越金 (会費) | 127,197 | | - | - | |
| 新規寄付 (要調達) | 803 | | - | - | |
| 新規会費 (要調達) | 0 | | - | - | |
| 新規助成金 | 0 | | - | - | |
| 新規支援金 | 0 | | - | - | |
| 合計 | 158,000 | | 合計 | 158,000 | |

※旅費交通費は、講演者の旅費・宿泊費の実費分

(6) 事業6 市民活動

①現地課題

当会自身の活動の紹介ができていない。機会があれば、神奈川県の市民活動フェアなどを通して、少しではあるが伝えていく。

②活動目的

当会自身の活動の紹介。福島に関わる活動を紹介し、福島の応援者を広げる。

③活動計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|-------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | なし | | | |
| 下期 | 1回、3月 | | | |

④活動予算 (単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----------|--------|----|-------|--------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 (資料代) | 0 | | 印刷費 | 25,000 | |
| 繰越金 (寄付) | 0 | | 支払負担金 | 2,000 | |
| 繰越金 (会費) | 27,000 | | - | - | |
| 新規寄付 | 0 | | - | - | |
| 新規会費 | 0 | | - | - | |
| 新規助成金 | 0 | | - | - | |
| 新規支援金 | 0 | | - | - | |
| 合計 | 27,000 | | 合計 | 27,000 | |

(7) 維持管理

①維持管理課題

現地訪問による、人との繋がり維持は必要
 行政、社協、地元支援団体など

②維持管理目的

現地を訪問し、人との繋がり維持を図る
 現地状況の情報の交換も図る。

③維持管理計画

| 上下 | 計画 | 実績 | 実績 | |
|----|--------------|----|----|----|
| | | | | 回数 |
| 上期 | 1回、南相馬・浜通り | | | |
| 下期 | 2回、中通りの町、被災町 | | | |

④維持管理予算 (単位：円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|----------|---------|----|-------|---------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 繰越金 (寄付) | 0 | | 旅費交通費 | 110,400 | |
| 繰越金 (会費) | | | 雑費 | 18,297 | |
| 新規寄付 | 91,397 | | 通信費 | 10,800 | |
| 新規会費 | 80,000 | | 消耗品費 | 18,900 | |
| 新規助成金 | 0 | | 印刷費 | 13,000 | |
| 新規支援金 | 0 | | - | - | |
| 合計 | 171,397 | | 合計 | 171,397 | |

(8) 事業合計

活動予算 (単位:円)

| 収入 | | | 支出 | | |
|-------------|-----------|----|-------|-----------|----|
| 項目 | 計画予算 | 実績 | 項目 | 計画予算 | 実績 |
| 参加費 | 3,356,400 | | 旅費交通費 | 4,555,540 | |
| 繰越金 (寄付) | 178,081 | | 印刷費 | 89,000 | |
| 繰越金 (会費) | 301,792 | | 会場費 | 10,000 | |
| 新規寄付 (要調達) | 302,200 | | 保険料 | 8,000 | |
| 新規会費 (要調達) | 80,000 | | 通信費 | 10,800 | |
| 新規助成金 (要調達) | 420,000 | | 諸会費 | 10,000 | |
| 新規支援金 (要調達) | 200,000 | | 消耗品費 | 18,900 | |
| - | - | | 雑費 | 120,297 | |
| - | - | | 支払負担金 | 2,000 | |
| - | - | | 予備費 | 13,936 | |
| 合計 | 4,838,473 | | 合計 | 4,838,473 | |

※新規助成金・・・第16次／第17次赤い羽根助成金 (短期) を活用する (申請する)。

※新規支援金・・・azbil みつばち倶楽部 様の支援金を活動する (申請する)。

4. 役員・スタッフ

(1) 役員・スタッフ

| 役割 | 区分 | 氏名 | 担当役割 |
|------|-----|--------|-----------------------|
| 代表 | 役員 | 渡辺 孝彦 | 兼務 (会計、渉外、事務、視察、あゆむ会) |
| 広報 | 役員 | 東 尚子 | 兼務 (県内支援、仮設担当、あゆむ会広報) |
| バス | 役員 | 戸沢 正弘 | バス運営 (現地活動リーダー) |
| 情報 | 役員 | 村上 幸 | 情報収集 |
| 相談役 | 役員 | 御園生 芳行 | 相談事項、講演会、会計監査、赤い羽根 |
| 全体支援 | 非役員 | 5名 | バス支援、県内支援の全てを行う |
| バス支援 | 非役員 | 1名 | バス支援を行う |
| 県内支援 | 非役員 | 23名 | 県内支援を行う (役員重複あり) |

(2) 会員更新状況 (2015.6.5時点)

| 区分 | | 総人数 | 女性数 | 男性数 |
|--------|-----|---------|------|---------|
| 正会員 | H26 | 75名 | 30名 | 45名 |
| | H27 | 67名 | 27名 | 40名 |
| 一般会員 | H26 | 93名 | 34名 | 59名 |
| | H27 | 103名(2) | 39名 | 64名(2) |
| 登録メンバー | H26 | 89名 | 40名 | 49名 |
| | H27 | 90名 | 41名 | 49名 |
| 合計 | H26 | 257名 | 104名 | 153名 |
| | H27 | 260名(2) | 107名 | 153名(2) |

※ () 内は H27 年度新規会員数

6. 最後に

当会は、平成27年度も粛々と活動を進めます。

当会は、現地の福島に行き直接に福島のお応援をします。
福島の皆様、福島の子供達が明るく元気に遊んでいる、そんな今までの福島であることを願
い活動を進めます。

福島は、浜通り、中通り、会津地方があり、同じ課題、違う課題が存在しますが、想うところ
は同じと思います。

現在置かれている環境は、福島の皆様の想いではなく、そうさせられてしまったもの

- ・同じ県内での分断（浜通り、中通り、会津地方、町、ご近所、ご家族・・・）
- ・県内と県外での分断（福島県と他県・・・）
- ・県外での分断（強制避難・自主避難・・・）

違う想いではなく、同じ思いへ進みたいと思います。

そして、神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様のお気持ちに少しでも近づき、少し
でもお手伝いさせていただければ、の想いです。

実際に現地に行くことや、神奈川県内に避難されている方々と接することにより分かる事
柄が沢山あります。参加者には、その一つでも知って・感じていただきたいとも思います。

私達は、いつか心から笑える日が来ることを願い、参加者の皆様と活動を続けていきます。

福島のお応援を続けます、これからもよろしくお願ひします。

2015年4月1日
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
代表 渡辺孝彦
スタッフ一同

Ⅲ. 補足資料

1. 活動の様子（詳細）

HPをご参照ください。

【 <http://kfop.jimdo.com/活動様子/> 】

2. 活動日程 (計画、一部抜粋、状況により変更もあります。)

| 4月 | | | | | | | 5月 | | | | | | | 6月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|---------|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|----------|--------|-----|----|------|----|
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | | | | | 48研 | | | | | | 定85 | | | | 定86/総・懇↑ | | | | | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| | | | | 定84/監 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| | | | | 49便 | | | | | | | 50便 | | | | | | 51便 | | | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 29 | 30 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月 | | | | | | | 8月 | | | | | | | 9月 | | | | | | |
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | | 1 | 2 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | | | | | 定87 | | | | | | 53便 | | | | | | 54便 | | | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| | | | | 52便(個)↑ | | | | | | | 定88 | | | | | | 定89 | | | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 28 | 29 | 30 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10月 | | | | | | | 11月 | | | | | | | 12月 | | | | | | |
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | | | | 55便 | | | | | | | 定91 | | | | | | 58便 | | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | | | | 定90 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| | | | | | 56研 | | | | | | 57便 | | | | | 定92/懇↑ | | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 30 | | | | | | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | | | | | | | 2月 | | | | | | | 3月 | | | | | | |
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | | | | 定93 | | | | | | | 定94 | | | | | | | | 市民活動 | |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 定95 | | | |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| | | | | なし | | | | | | | 59便 | | | | | | 60便 | | | |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 29 | | | | | | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<凡例> 定XX: 定例会(土曜日15:00~17:00、県サポ11Fパートナーシップルーム)
 XX便: ポラバス、XX便(個)個人便
 XX研: 視察研修便
 (ポラバスは、原則活動日の5週間前の日曜に募集を開始する。Ex5/23→4/19)
 総: 総会
 監: 会計監査
 懇: 懇親会・慰労会(予定)

保護ページ